C-tune II

補聴器の検出

はじめに

このクイックガイドでは、C-tune II から接続できる補聴器を検出する方法について説明しています。フィッティングを行う前にすべての補聴器を検出して接続する必要があります。

補聴器の接続

下記手順で検出して接続します。

1. データベースからユーザーを選択し、C-tune を開きます。

2. 「セッションスタート」または「選択」ウィンドウで、メインワークスペースの上にあるドロップダウンリストからプログラミングインターフェースを選択します。前回使用したインターフェースが最初に表示されています。リストには使用可能なインターフェースが表示されます。

3. ウィンドウ上部にある「*接続*」ボタンを押します。

   C-tune が通信範囲内にある補聴器を検出してダイアログボックスに表示します。Noahlink Wireless を使用する場合、新しい補聴器を検出すると、補聴器の検出一覧が自動的に更新されます。Noahlink Wireless は、電源を入れてから 3 分以内に補聴器を検出します。

4. ワイヤレスプログラミングインターフェース付近で 2 つ（以上）の補聴器の電源がオンになっている場合、どちらの補聴器が左右なのかの判別が難しい場合があります。補聴器を特定するには、「*補聴器の特定*」ヘッダーの「*再生*」ボタンを使用します。「*再生*」ボタンを押すと、対応する補聴器で音が流れ、どこにあるか知らせます。

Noahlink Wireless を使用する場合、ボタンを短く押すと、一覧の中の補聴器が数秒間ハイライトされ、補聴器を特定することもできます。補聴器は信号強度順に表示されるため、一覧の一番上の補聴器が Noahlink Wireless に最も近いことになります。

5. 「*右を選択*」列および「*左を選択*」列のラジオボタンで、左右それぞれに使用する補聴器を定義します。

6. 補聴器を選択したら、「*次へ*」を押して進みます。「接続ステータス」ダイアログボックスが表示されます。ここで補聴器を確認できます。ダイアログボックスには、補聴器のモデル、シリアル番号や音響構成が表示されます。

7. ドロップダウンリストでイヤーウェアを選択または変更します。ユーザーの実際のイヤーセットに合った設定を選ぶことが重要です。フィッティングデータに誤りがあると、補聴器を最大限に活かすことができません。

8. 「*次へ*」ボタンを押します。補聴器が接続されます。「接続」ボタンの表示が「切断」ボタンに変わります。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、http://widex.pro/gps-startup-guide で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は http://widex.pro/gps-startup-guide からもダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：4.0。発行日：2020 年 11 月